

市民活動団体・グループへのアンケート（案 ver. 20110202）

貴団体を市民に向けてご紹介ください

【１】 団体の概要

ふりがな ①団体名	
②所在地	北本市
③電話番号	— —
④FAX	— —
⑤メールアドレス	@
⑥ホームページ	http://
⑦代表者	ふりがな 氏名： 職名：
⑧活動開始年	年
⑨広報紙・会報等	
⑩会員等の人数	
⑪新規会員等募集の有・無	有（備考：） 無



北本トマト

【2】 主な活動分野について伺います。(1)～(17)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください。(いくつでも)。当てはまるものが(1)～(17)に無い場合は(18)を選択し、具体的にご記入ください。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (5) 環境の保全を図る活動
- (6) 災害救援活動
- (7) 地域安全活動
- (8) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (9) 国際協力の活動
- (10) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (11) 子どもの健全育成を図る活動
- (12) 情報化社会の発展を図る活動
- (13) 科学技術の振興を図る活動
- (14) 経済活動の活性化を図る活動
- (15) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (16) 消費者の保護を図る活動
- (17) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- (18) その他 ()

【3】 主な活動場所について伺います。(1)～(4)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（いくつでも）。(3)～(4)のいずれかを選択した場合は、その名称をご記入ください。

- (1) 事務所
(2) 会員宅
(3) 公共施設 ()
(4) その他 ()

【4】 主な活動地域について伺います。(1)～(7)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（一つだけ）。当てはまるものが(1)～(7)に無い場合は(8)を選択し、具体的にご記入ください。

- (1) 町内（自治会単位）
- (2) 小学校区（コミュニティ委員会設置単位）
- (3) 市内全域
- (4) 市内全域および近隣市町
- (5) 県内
- (6) 県外
- (7) 海外
- (8) その他（ ）

【5】 平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の予算規模について伺います。(1)～(5)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（一つだけ）。

- (1) 10万円未満
- (2) 10万円～100万円未満
- (3) 100万円～500万円未満
- (4) 500万円～1,000万円未満
- (5) 1,000万円以上

【6】 活動内容／活動を始めたきっかけ／今後目指す活動内容・分野を、市民に向けてご紹介ください。

現在の活動内容：
活動をはじめたきっかけ：
今後目指す活動内容・活動分野：

【7】 ここまでご記入いただいた「**貴団体の紹介【1】**
～【6】」を市民に公表してよいか伺います。(1)～
(2)の選択肢のいずれかに丸をしてください。

一部分の公表であれば許可する、という場合は(3)
を選択し、公表可の項目の番号にのみ、丸をしてく
ださい。

- (1) 全て公表可
- (2) 全て公表不可
- (3) 一部のみ公表可

(公表可の項目の番号にのみ、丸)

- ・ 【1】 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
- ・ 【2】
- ・ 【3】
- ・ 【4】
- ・ 【5】
- ・ 【6】

次ページよりアンケート

引き続き、アンケートにお答えください

質問Ⅰ 北本市と協力して行った事業の実績について伺います。過去に北本市と協力して行った事業がありましたら、主なものを5つまでご記入ください。

1.

2.

3.

4.

5.

質問Ⅱ 行政機関からの補助金額について伺います。平成22年度に受けた市や県等の行政機関からの補助金額について、次の(1)～(5)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（一つだけ）。補助金を全く受けていない場合は(6)を選択し、その理由についてお答えください。

補助金＝課題や目的を共有した上で、市が金銭を団体に交付する形態

- (1) 10万円未満
- (2) 10万円～100万円未満
- (3) 100万円～500万円未満
- (4) 500万円～1,000万円未満
- (5) 1,000万円以上
- (6) 行政機関からの補助金は受けていない
(理由：)

質問Ⅲ 現在の活動に不足しているものについて伺います。

(1)～(16)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（いくつでも）。また、その理由や具体例をご記入ください。

- (1) 事務所
- (2) 機材
- (3) 会議スペース
- (4) イベントスペース
- (5) 活動資金
- (6) スタッフ・ボランティア
- (7) 会員
- (8) 専門家
- (9) 情報
- (10) パソコン・インターネットなどの知識・技術
- (11) 経理についての知識
- (12) 編集・広報についての知識
- (13) 組織運営・経営についての知識
- (14) 労務管理についての知識
- (15) 特定非営利活動（NPO）法人（化）についての知識
- (16) その他（ ）

理由：

理由：

質問Ⅳ 特定非営利活動（NPO）法人格取得の意志について伺います。(1)～(5)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（一つだけ）。(1)～(2)のいずれかを選択した場合は、その理由をご記入ください。

- (1) NPO法人格取得の意志がある
(理由：)
- (2) NPO法人格取得の意志は無い
(理由：)
- (3) わからない
- (4) NPO法人格を取得済である
- (5) NPO法人格以外の法人格を取得済である

質問Ⅴ 行政機関との協働について

【１－１】

今後、行政機関との協働を考えていますか。次の(1)～(6)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（いくつでも）。また、その理由をご記入ください。

協働＝対等の立場で、共通の目標に向けて協力しあうこと

- (1) 北本市との協働を考えている
- (2) 北本市以外の埼玉県内市町村との協働を考えている
- (3) 埼玉県との協働を考えている
- (4) 県内市町村や埼玉県以外の行政機関との協働を考えている
- (5) 行政機関との協働は考えていない
- (6) わからない

理由：

理由：

※ただいまの質問Ⅴ【１－１】で

→(1)～(4)を選択した場合のみ、

【１－２】【１－３】の質問にお答えください。

→(5)～(6)のいずれかを選択した場合は、

そのまま１４ページの質問Ⅵにお進みください。

【１－２】

質問Ⅴ【１－１】で(1)～(4)を選択した団体（「行政機関との協働を考えている」団体）に、どのような事業での協働を望むかについて伺います。自由にご記入ください。

【 1－3 】

質問Ⅴ【 1－1 】で(1)～(4)を選択した団体（「行政機関との協働を考えている」団体）に、【 1－2 】の協働事業を具体的に進める際にお互いが心がけるべきことについて伺います。その理由とあわせて、自由にご記入ください。

協働事業＝市民団体と市とが対等の立場で協力しあって行う事業

団体の側が心がけるべきこと：
行政の側が心がけるべきこと：

質問Ⅵ 他の市民活動団体・グループまたは企業との交流・連携について

【1】 他の市民活動団体・グループとの交流・連携の経験の有無について伺います。 次の(1)～(2)の選択肢のいずれかに丸をしてください。(1)の場合は、交流・連携が始まったきっかけをご記入ください。

(1) 他市民活動団体・グループとの交流・連携の経験がある

きっかけ：

(2) 他市民活動団体・グループとの交流・連携の経験はない

【2】 他の市民活動団体・グループとの今後の交流・連携について、意志を伺います。次の(1)～(6)の選択肢のうち、当てはまるものに丸をしてください（いくつでも）。また、その理由をお答えください。(5)を選択した場合は、どのような活動分野の団体かご記入ください。

- (1) 同じ分野で活動する他市民活動団体・グループとの交流・連携を希望する
- (2) 他の分野で活動する他市民活動団体・グループとの交流・連携を希望する
- (3) 活動分野を問わず、事業の内容ごとに他市民活動団体・グループとの交流・連携を希望する
- (4) 民間企業との交流・連携を希望する
- (5) (1)～(4)以外の団体との交流・連携を希望する
()
- (6) 他団体との交流・連携は希望しない

理由：

【3】 市内の市民活動団体・グループ合同の会議について伺います。市内の市民活動団体・グループが一堂に集まる会議等は必要だと思いますか。次の(1)~(2)の選択肢のいずれかに丸をしてください。また、その理由をお答えください。

- (1) 一堂に集まる会議等が必要だと思う
- (2) そのような会議等は必要無い

理由：

質問Ⅶ 協働推進及び市民活動促進について、北本市への要望等を自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力をいただきありがとうございました。後日、集計結果をご報告いたします。